

有間ダムで森林体験バスツアーを実施しました！

都市部の県民を対象として、森林・林業の現状や森林のもつ水源かん養などの公益的機能及びダムの治水・利水機能について理解を深めてもらうため、9月26日に有間ダム周辺で森林体験バスツアーを実施しました。

当日は親子など32名が参加し、ダムの見学、森林整備体験、カヌー工房の見学、カヌーの試乗体験などを行いました。



有間ダムの役割は…

有間ダムの見学では、有間ダム管理事務所の職員からダムの役割やダムと森林のかかわりについて説明を受けた後、一般的には入ることのできないダムの堤体内の見学を行いました。



ダムの中は急階段！

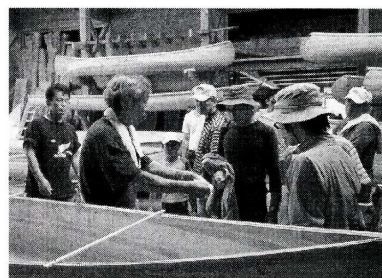
一般的には入ることのできないダムの堤体内の見学を行いました。

森林整備体験として、昨年第59回埼玉県植樹祭においてヤマザクラなどの広葉樹を植栽した場所で下刈りを行っていただきました。



下草刈り体験

カヌー工房では、間伐材を有効利用してカヌーを製作することやスギ材の軽い性質がカヌーに適しているなどの説明を受けました。



スギの間伐材で造ります

参加者からは、「疲れたけれど下刈りは大事な作業だと思った。」「また来て下刈りをしたい。」といった声が聞かれ、県民の方々に森林の役割や森林整備の大切さについて理解を深めていただきました。

県民と協働で森づくり～武蔵野の森再生事業～

林業部では、「彩の国みどりの基金」を活用し、県民と協働で「武蔵野の森再生事業」に取り組んでいます。入間市仏子地内の森林では、地元自治会を中心として結成した森林ボランティア団体である「仏子山親緑会」とともに、手入れが行き届かず荒れたスギ林を伐採し、ヤマザクラやコナラなど広葉樹の森林に再生するための植栽をしました。



一本一本心をこめて・・・

今後は同会が下刈りなどの保育・管理を実施し、森林を守り育てていくこととしています。こうした地域の方々の総力で、地域の森林の整備が継続的に進められて行くことを期待しています。



仏子山親緑会の皆さん